

4月

スマホ・ケータイ安全教室

上手な情報活用と リスクを考えよう



ネットや SNS をよく使っている場面を振り返り、どんなリスクがあるのかをみんなで考えました。NTT ドコモの方からは、ネットや SNS と上手につきあうための工夫を教えてもらいました。さらに、チャットの内容を基にどのような対応をするべきかをグループで話し合うなど、今後のリスクを予測し、上手に活用する方法を考えることができました。多くの情報に惑わされることなく、その先には相手がいることを意識し、行動してきましょう。

【ネットや SNS と上手につきあうための工夫】

【対人的な要因】

- ☐ 「どこまでやるか」を表明する
- ☐ アプリの通知制限の利用
- ☐ 不快にさせない断り方を
用意しておく

【心理的な要因】

- ☐ 小さい楽しいものはさむ
- ☐ やることのリスト化
- ☐ ご褒美の大小を使い分ける

【環境的な要因】

- ☐ 終わるための合図を決めておく
- ☐ 時計を近くにスマホを遠くに
- ☐ あえて使にくくする



何もしない？
(様子をうかがう)

相談する？

働きかける？

4月



人権イメージキャラクター

人KENまる君

人KENあゆみちゃん

～人権教室～

人権とは・・・

人間が人間らしく生きていく権利で、全ての人が生まれながらにして持っている権利です。人権は、日本国憲法で、全ての国民に保障されています。

互いに相手を思いやり、自分の人権も相手の人権も大切に守りながら、共に幸せに暮らせる社会をつくっていきましょう。

人権擁護委員の方より



小さなことでも何か不安なことがあれば、いつでも相談してください。一人で悩まず、周りの人に相談したり、話をしたりしていきましょう。

そして、人権擁護委員という存在がいるということを知っててください。



「こどもの人権SOSミニレター」について

この裏面に相談したいことを書いて送ってください。切手は不要です。

あなたが悩んだり困ったりしていることなどについて書かれた手紙を、人権問題に詳しい人が読んで、手紙や電話でお返事をします。相談内容や個人情報などの秘密は守りますので、安心して相談してください。お友達が困っているときも相談してください。

※相談には、みなさんの人権を守る仕事をしている人権擁護委員や法務局職員が応じます。また、相談内容によっては、関係機関とともに対処する場合があります。

5月

憲法記念日

5月3日

なんで祝日なの??

日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期するため定められました。

日本国憲法では「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」の三原則が柱となっており、中でも「基本的人権の尊重」が重視されています。



基本的人権とは??

社会科の伊東先生より、基本的人権の尊重とは、人が生まれながらにして持つ権利を尊重することであり、憲法11条では、基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」として国民に与えられると宣言されていると教えてもらいました。自分だけでなく、相手の人権も侵してはならない。ともに学ぶ仲間のことを考え、一人ひとりが当たり前のように生活できるように行動してきましょうとお話がありました。また、第12条には「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。」とあり、自分たちの持つ権利と自由は、国家に任せるのではなく、一人ひとりが侵害されないように努力が必要だと教えてもらいました。相手のことを考え、相手のことを大切にできるように努力していきましょう。

*不断の努力とは、日頃から途切れさせることなく継続するような努力を意味します。

5・6月

小中連携 音楽科

和楽器交流授業

～中3生&町内3小学生



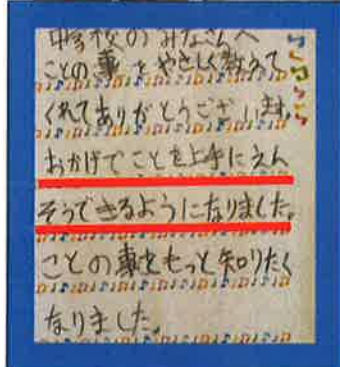
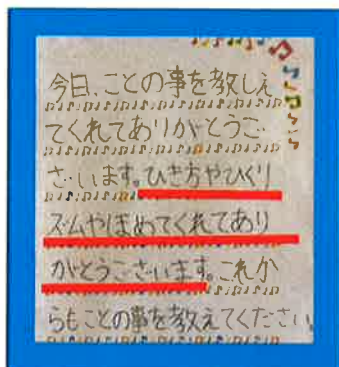
with
橘小4年生



with
中島小4・5年生



with
川北小6年生



音楽を通して、小学生とのつながりを持つことを目的に和楽器交流をしました。和楽器交流当日は、「分かりやすく箏の基本的な奏法を教える」というねらいで授業を行いました。言葉の説明だけでなく、実際にやって見せて、音で聴かせて、演奏することの楽しさや箏の音色の良さを伝えていました。

「上手!!」「すごい!!」など、温かい言葉かけがたくさん聞こえてきました。

7月

保中連携 家庭科

保育実習

～中3生 & 川北保育所～



4年ぶりに保育実習へ行ってきました。授業の中で準備した遊びやおもちゃ、読み聞かせ等をしました。短い時間でしたが、園児と過ごす時間を楽しみ、関わり方も学びました。転んでしまった幼児に駆け寄ったり、泣き出す幼児に優しく声をかけたりする姿も見られました。幼児と接する中で、難しいと感じることもあったようですが、それ以上に子ども達の可愛らしさや真っ直ぐな心を強く感じていました。

9月

2年生

総合的な学習の時間

弁護士によるいじめ予防教室 ～複雑化する社会をどのように生きるか～



現職の弁護士の方からいじめについて法律の観点や、加害者、被害者、傍観者がいじめに対して何を考えているかなど様々な視点でお話をいただきました。実際に起きてしまったいじめによる事件のお話を聞き、いじめの恐ろしさや危険性について学ぶことができました。

また、SNS やスマホが普及した社会で、普段耳にしたり目にしたりする情報が全てではなく、一部の情報を切り抜かれているため普段耳にする情報が、必ず正しいのではないと講師の先生からお話をいただきました。インターネットが普及することで今までになかった犯罪や SNS でのトラブルに自分たちが巻き込まれないようにどのように行動すべきか弁護士の視点からアドバイスをいただきました。

いじめ予防教室を受けて

軽い気持ちで言ったことや、やったことでも相手は傷ついているかもしれないので、言動には気をつけたいです。人の心の中のコップは人それぞれ大きさが違い、どれだけたまっているかは見えないので悪口は言わないようにしたいです

コップの大きさは人によって違い、外から見ることはできないので、常に言葉遣いには気をつけたいと思った。また、相手の気持ちをよく考えるようにしたいと思った。

いじめはいじりなどから始まる。被害者は必ず限界があり、ためこまないことが大切だと知りました。弁護の仕事を知ることができてたくさんの役職があると知りました。

10月

2年生

総合的な学習の時間

人権教室

～アイヌの人々、高齢者と子どもの人権～

2年生は総合的な学習の時間で人権について4つのテーマに分かれて課題研究をしています。10月12日（木）に北海道在住の博物館学芸員 ^{のぐち ひろや} 野口 泰弥さんとオンラインで繋ぎ、アイヌの人々について歴史や当時の暮らしについて資料や写真を見せていただき歴史について深く学びました。また、どのような理由でアイヌの人々が差別を受けることになったのか歴史の視点から初めて学ぶことがおおくありました。普段の調べ学習では学ぶことができないアイヌの歴史のことについて野口先生から教えていただきました。

同日、白山市の人権擁護委員である ^{あずま せつこ} 東 勢津子さんに中学校に来校していただき、高齢者や子どもの人権について講話をしていただきました。人権は、「社会的に」ルールやマナーを守って自由に生きることであり、普段からの言葉遣いやマナーに気をつけなければならないと教えていただきました。また、高齢者や子どもそれぞれの視点からどのような権利が自分たちにはあるのかについて知り、普段の生活と人権がどのように関わっているのか考え直す機会となりました。

昔の差別を恐れているアイヌの人がいっぱいだと知って可哀想だなと思ったり、消えない過去だからとても怖いと思いました。また、アイヌの人たちと人権がどのようにつながっているのわかりました。

アイヌの人々は様々な事情があっても日本人に狩猟採集を禁止されたり、日本語を使うことを強制させられるなど大変だったと知ることができました。



東先生のお話を聞いて、人権は、ただ人として自由に生きるのではなく、ルールやマナーを守って自由に生きることだとわかりました。これからは、自分の言動や行動に気をつけて生活していきたいです。

高齢者に対しての接し方や自分の価値観で決めないなどの今日知った事を活かして行きたい。



11月

人権講演会 全校集会

ハンナのかばん ～悲しみを希望にかえて～

「戦争の責任は偉い人たちや政治家、資本家だけにある
のではありません。そうなんです、責任は名もない一般の
人たちにもあるのです。」 by アンネ・フランク



11/22(水)に「ハンナのかばん」の作者である石岡史子さんを東京からお招きし、ハンナという1人の少女とその家族の物語を通してホロコーストの歴史について学びました。もし、私たちがハンナのいた時代に生きていたとしたら、私たちは「名もない一般の人たち」になっていたかもしれない…「考えるのを止めたとき、放棄したときに、人は恐ろしい存在になってしまうのです。」という石岡さんの言葉は、私たちに問い続けることの大切さを教えてくれました。

- ・ジョージさんが生き延びていたのはすごいことだと思います。でも、自分だけが生き延びたというのはつらいことだと思うし自分だったら耐えられないと思います。それでも前を向いて、平和の大切さや戦争の悲惨さを伝えていくジョージさんを知って私も前向きに生きたいと思いました。
- ・お話を聞いて、ユダヤ人の人々が今までどんなつらい、悲しい思いをしてきたのかわかりました。自分がユダヤ人の人だったと思うと怖くて仕方ありません。そのくらい人の言葉や暴力は思わぬ域まで達し、簡単に元に戻せないものへと拡大していってしまうと思いました。今このときもこのような事態が起こっているのがとても恐ろしいです。自分がどれだけ無力であるのか実感させられました。
- ・今日の話を聞いて、事前学習のときにプリントに書いてあった「そうなんです、責任は名もない一般の人達にもあるのです」という文章に納得しました。石岡さんが言っていたように今から殺されるかもしれない人をのせた貨物列車を運転してる人やその予定を作っている人にも責任があると納得したからです。その人達も怖かっただろうけど、悪いことと思っているならどこかで誰かが止めなければならない責任があると思います。命の重さは平等だということを忘れないでいたいです。
- ・今日、改めて人間の愚かさや醜さを感じました。人種が違うからと言ってそれが差別されたり、殺されたりする理由になんてならないと思います。戦争というのは、人類の醜いところを集めた権化のようなものだと思うので、一刻も早く戦争のない世の中になることを願います。
- ・道徳の授業でもあったように、人間を大きくまとまりで縛り、その人達を偏見で差別することは人々を苦しめるものだわかりました。また、一人ひとりには物語があって、大切な人がいるから簡単に殺したりすることはいけないということが改めてわかりました。

12月4日(月)～10日(日)は人権週間

人KEN まもる君

人KEN あゆみちゃん

「命は大切だ」「命を大切に」

そんなこと 何千 何万回 言われるより

「あなたが大切だ」

誰かがそう言ってくれたら

それだけで 生きていける

12月

人権教育講話 全校集会

「人権を

—同和問題—

から考える」

「差別やいじめは、多数者による少数者に対する犯罪であり、加害者だけではなく、いじめを認知していない人たちも同罪である。」

「差別をなくすためには多数者の意識を変える必要があり、多様性、異質性、違いを認め合うことが人権尊重である」

12/4(月)に金沢桜丘高等学校教諭の角谷 正人さんをお招きして、「同和問題」についてお話していただきました。講話では、差別問題を中心に歴史の視点を交えながらお話していただきました。



●周りではいじめや差別などと簡単な言葉でまとめられてしまいます。その言葉があるだけでその事実を知っても誰も助けようとしなくて、知ろうとしない、そういうことがだめなのだと思います。大人数の人がいる中で誰か一人さえ助けたい話なのに誰も見向きもしない。そんな状況で苦しんでいる人を助けてあげる。それがその人にとってどれだけ嬉しいのかは本人にしか分かりません。また一人の人が助けることによって周りの人も助けられるのかなと思いました。

●今日の講話を聞いて、他の人と違うことは悪いことではないという考えが素敵だなと思いました。絶対に同じ人なんていないし、個性を否定することになるのかなと思いました。これからは、私が多数派だとしても、少数派を否定したり間違っているという考えを持ったりしないようにしていきたいです。

●多数派にいる私達は、差別の辛さ、平等さの重要性を感じる事が難しいかもしれないけど、他人事と感じないようにしたいです。多数派にいて、「誰かが動いてくれる」と責任放棄してしまうけど、少数派はもっと辛くなるかもしれないと怯えながらも、自分たちで動いているのは、人として尊敬できます。差別は命を奪う行為であることを自覚して、自分の行動に責任を持てるようにしたいです。

5月

憲法記念日

1946年11月3日

日本国憲法 公布

11月3日

文化の日

1947年 5月3日

日本国憲法 施行

5月3日

憲法記念日



5月3日の憲法記念日を前に全校集会で
松永先生から基本的人権の尊重と憲法の役割についてお話がありました。

松永先生は「おりとライオン」という絵本を
使って私達に分かりやすく教えてくださ
いました。



全校集会で
憲法について全体で
学習することでより知識が
たまり、法律と憲法の違いが
分かってよかったです。
3年2組 別泉琉生

日本国憲法は
憲法である。ゆえに
あるべき。いかに大切
なものか。
3年2組 飯田

憲法は、
国を治める
ためのルール
です。だから
守らなければ
ならない。
3年2組 佐藤

なにが しあわせかは ひとりひと
り ちがうから、ライオンは わたし
たちの しあわせについて、とやかく
いっては いけない。



憲法13条:幸福追求権
すべての人間が自由に
幸せを追求する権利

憲法13条の条文
「すべて国民は、幸福を追求する権利を有する。」
この権利は、個人として行使される。国家、社会及び国際社会に於ける権利
行使については、法律の範囲にない限り、自由な権利行使の自由、権利
行使を妨げない。

いじぢ
居いぢ地のいゝ、アキキナ木！
てゑ、オムナカ

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

困バニヤカ



けれども、みんなが
おなじ木でくらしてゐると、
いろいろなことがおきました。
「こまったね」「どうしよう」

7月

ロージー先生来校

7月4日のアメリカ独立記念日に Black History
 についてのお話がありました。

差別をなくすために相手を理解する大切さ、
 みんな平等に人としての権利を持っていること
 についてお話してくださいました。

ロージー先生



谷口先生



ロージー先生の
 書いた本が日本語で
 読める！
 図書室にあります



人種だけで
 なく、まわりの友達など
 誰にでも、分け隔てなく
 接することを大切にしたい
 と思いました。
 2-1 小川翔璃

みんな平等に人として
 の権利を持っていて、それ
 が脅かされることになって
 いるのはかなりひどいので、相手を
 理解し、尊重し合うことが
 大切だと感じました。
 西田 美里

ロージー先生の
 話をきいて Black
 historyが黒人の方
 への人権に関わることを知
 ることができました。とても
 貴重な時間になりました。
 1-2 柳上 真子

教頭先生に改めて
 人種差別について話して
 もらって、差別はよくない
 と思いました。そして、日本
 にも差別があることに驚きました。
 2年1組 伊藤 希助



白人専用の
手洗い



黒人は
こっち

白人
女子
男子



カラー
(有色人種)

Separate



映画館

「これは白人専用の砂浴。黒人はここじゃない。」

有色人種は
裏口からどろろ

BLACK
LIVES
MATTER

BLACK LIVES
MATTER

(黒人の命は大事)
ジョージ・フロイドの件は、全米各地に
大規模な抗議デモを巻き起こした。



「黒人の命は大事」は
国際的な人権運動に

黒人に対する暴力や人種差別に闘っている

Rosie's Message

For Mom and Dad
and for every Black child that's wounded
if they're enough—you are.



この本を 父と母 そして 自分は今のままで
いいのかわかっている、すべての黒人の
子どもたちに捧げます。
— 今のあなたのままで、そのままで
あなたは素晴らしい存在なんだよ。

Dominique Apollon
Apollon Terebith

It's taken me 45 trips around the sun, but for
the first time in my life I know what it feels
like to have a "band-aid" in my own skin
tone. You can barely even spot it in the first
image. For real I'm holding back tears.



532,000 1.27 · 2019年4月20日
103,878人がこの写真について話しています

初めて
自分の肌の色の
ばんそうこうを
手に入れるまで、
地球を45周回ったよ。
目立たないで、
まじで今、感激で
涙をこらえているんだ。